

技術検討会「バーチャル・リアル融合」

世話役 松村道孝(平田機工)

1 事業概要

目的	CAE技術の習得や計測技術の習得を通して技術融合を目指し、ものづくりにおける生産性向上につなげる。 ものづくりにおけるQCD向上を図り、安全で魅力のある製品を作り出せる技術者ならびにシステムを構築する。
内容	◆ オープンソースのCAD、CAEソフトウェア（構造・流体など）を使用した操作実習 ◆ ものづくり実習 ◆ 測定技術の習得
計画	2ヶ月に1回程度、操作体験形式と講習会形式の技術検討会を開催する。
キーワード	デジタルツイン、DX、3D-CAD、CAE、3Dプリンター、3Dスキャナー、測定技術、ものづくり
目標及びその進め方	CAD、CAEなどのデジタル技術のスキル習得および温度、加速度等の測定技術を習得することにより、リアルとバーチャルの両面からものづくりにおけるQCD向上を図る ①オープンソースのCAD、CAEソフトウェア（構造・流体など）を使用して、ものづくりの事前検証を行うスキルを習得する ②装置、製品の測定を行う（温度、加速度、変位など）スキルを習得する ③シミュレーション結果と測定データの比較を行い、シミュレーションの精度向上を図る ・シミュレーション技術のスキルアップ、最新情報入手のために、CAD/CAEの専門家を招いてディスカッションを行う。 ・産業技術センターで開催の技術普及講習会と協力して、技術力向上につなげていく。 コーディネート役は産業技術センターの濱嶋英樹氏
対象者	● 企業のエンジニア ● CAD/CAEに興味のある人 ● 解析システムの導入検討に興味のある人
会員	随時募集する

2 支出計画

単位:千円

	RIST負担分					備考
	設備費	原材料費	消耗品費	その他	合計	
予算			220	80	300	

3 予算積算

(単位:千円)

	品名	単価	個数	価格	備考
設備費				0	
原材料費				0	
消耗品費	材料費など	220	1	220	測定治具作成
その他	講師旅費・謝金、会場費など	40	2	80	
合計				300	